

トヨコ通信

ホームページ
e-mail

http://www.sasada-toyoko.jp/
sanbal@sasada-toyoko.jp



2004年新年号

発行 : 日本共産党笹田トヨコ後援会
発行日 : 2003年12月25日 第16号
連絡先 : 大垣市鳩部屋町41
日本共産党大垣市後援会
Tel 74-3449 Fax 73-8572

みなさん あけましておめでとうございます。

昨年は、後援会のみなさんをはじめ多くの方々に大変お世話になり本当にありがとうございました。この8ヶ月間、多くの方の期待をひしひしと感じつつ、何とかその期待に応えようとがんばってきました。まだまだ先輩議員のようにはいきませんが、「市政を市民のものに」を合言葉に、「トヨコ通信」や週刊「スポット0gaki」を発行してきました。

今年には憲法9条を踏みにじる「自衛隊イラク派兵」から「西濃10市町の合併」まで課題は山積み。皆さんの期待を裏切らないように精一杯がんばります。



笹田トヨコ

参議院選挙の岐阜県選挙区予定候補決定

日本共産党岐阜県委員会は、この夏に行われます参議院選挙の岐阜県選挙区予定候補として加藤たかお氏を発表しました。昨年の総選挙で、財界がつくりあげた、改憲と消費税増税を狙う自民党と民主党の保守2大政党が出現しました。しかし、本当の対抗軸は「保守2大政党対革新の日本共産党」です。どうか日本共産党を躍進させて、消費税増税とイラクへの自衛隊派兵にストップをかけ、憲法9条改悪を許さない日本にしましょう。



党岐阜県責任委員、元多治見市長

加藤たかお

かとう たかお

1年間続いた早朝駅前宣伝

この1年間毎週金曜日の早朝6時45分から、大垣駅前で「スポット0gaki」を配り、大垣市政のことにしてお知らせしてきました。この行動にはIさんやAさん夫妻の応援があり、当初はチラシを取らない人もたくさんいましたが、今では固定読者も現れて250枚ほど配ることができます。

テーマによっては、チラシの捌け方も違い、「大垣市民病院」を取り上げた時には、たくさんの方がチラシを受け取りました。「住基ネットのICカード」の時は、若者がわざわざ戻ってきてチラシを取りにきました。こういった様々な人との出会いが楽しみです。



早朝駅前宣伝に参加して1年近くになりました。連れ合いに誘われて始めたことです。始めた頃は朝食の支度をして出かけることは大変でしたが、今は生活のリズムも出来て近頃では今日も何枚かのピラを配り終えたと爽快な気分になって帰ってきます。時には今日受け取って下さった方々の顔を思い浮かべながら、ピラの内容や思いが伝わることを願い帰路につきます。毎週配るこの頃は笑顔ひとつで受け取り手と配り手の無言の中にも信頼関係を感じます。 (T・A)

早朝駅前宣伝に参加をして1年間あっという間に過ぎたようです。始めはピラを配っていても受け取ってくれる人はあまり居ませんでした。回を重ねるごとにピラを受け取る人の反応が良くなってゆくのを感じられるようになりました。駅前宣伝は定期的に長く続けて行くことが大切だと思います。これからも出来限り多くの皆さんが協力をして早朝駅前宣伝はしてゆく必要があると思っております。 (A・I)

トヨ子通信

厚生委員会視察報告

10月14から16日まで、厚生委員会で、富士市のフィランセ、川口市の朝日環境センター、小平市の幼保一元化を視察してきました。

富士市のフィランセは、保健女性センターと総合福祉センターを併せ持った複合施設です。主管は保健福祉センターで、相談室長の方からお話をうかがいました。施設の中では、リハビリルームや在宅介護支援センター、おもちゃ図書館やプレイルームのある子育て支援活動、断酒会や広報の点字化・音声化を行う活動や災害時の拠点機能をもつボランティアフロアなど多様な活動が行われています。福祉相談では本庁とつながった端末機が設置されており、その場で福祉サービスの申請など相談者に対して具体的に対応でき、また施設内には消費者相談やDVの相談などとも連携して対応できるなど、複合施設の機能を発揮していました。全館ハートビル法に基づき整備され、建設費は総額27億円と安いという感想を持ちました。

川口市の朝日環境センターは建設費225億円、地下1階から2階まではガス化溶融炉のごみ焼却処理施設、3・4階はリサイクルプラザ、5階は住民還元設備のプールや入浴施設。

このセンターの設立背景として、最終処分場を持たない市としては、ごみの減量化に迫られ、徹底したリサイクルで3万トンから5千トンに減量し、またダイオキシン対策として0.1基準に対して0.05を目標に現在0.01レベルを保っているとのこと。また都市の中にある施設として地域対策を重視、入浴やプールの利用者は平日で300人を越える盛況さとのこと。環境問題の情報発信地として、インターネットなどで啓発を行い、屋上には風力・太陽熱・太陽エネルギーなど設備があり、これからの環境対策にとって示唆に富むものでした。また、「経済性」を重視し、今までの経費の枠内で運営できるようにしているとのこと。人口48万人都市にとって住民の協力が大きな課題で、住民を意識した取り組みが印象的でした。

この1月13日から17日まで日本共産党の党大会が開かれます。ここでは42年ぶりに綱領の改定案が検討されますが、私はこの党大会にはじめて代議員として出席します。日本共産党が、どんな日本を、そ

してどんな世界をめざしているのか、またその実現の道すじをどう考えているか、多くの人々に分かりやすく示すというのが今回の綱領改定の目的です。皆さんの率直なご意見をお寄せ下さい。 笹田トヨ子

12月議会 こぼれ話

もともとくじ運はよくない私ですが、今議会の一般質問の順番が13番で最後から2番目。今までの例から見て2日目の10時と予測して、議会傍聴のみなさんに案内を出しました。ところが、1日目の4時半頃に13番まで終了し、「さて、私はどうなるか・・・」とっていると、議場から「やっしまえ！」という一声で続行、質問時間を延長して1日で一般質問が終わりました。予想外の展開で、しかもメガネを控室に忘れるという

ドジをしてしまい、慌てふためいた1日でした。幸い、質問したい内容は基本的にすることができ、よかったです。

翌日、「傍聴の方が見えています」という議会事務局からの電話で、早速市役所へ。傍聴に来られた2名の方と懇談して、市政に対するご意見を伺いました。災い転じて福とはこのことか、いろいろ貴重な意見やアドバイスをいただきよかったです。

12月議会一般質問の内容は、ホームページに掲載してありますのでご覧下さい。

西濃圏域合併協住民説明会始まる

現在進められている10市町の合併について、12月20日より住民説明会が始まりました。これは、合併協議会で検討されている「新市街づくり計画」の原案を示し、住民に意見を求めるものですが、大垣市では1月に5地域で説明会が行われます。

事務局より、「子育て日本一の中核都市」をスローガンにした重点プロジェクトが説明されると、会場からは「30人学級や乳幼児の医療費の無料化」、「自校方式の学校給食」、「子どもの居場所である児童館の設置」などの要望がでました。また高齢

者からは「子どもだけでなく年寄りの施策はどうなっているのか」といった声もありました。一方、この施策の根拠となる財政計画は合併10年間のシミュレーションしか出されておらず、地方交付税の算定替え特例が切れ、交付税が減額される10年以降の財政はどうか、また特例債などによる地方債の借金が増え、その返済はどうか、等など、疑問が沢山出てくる説明会でした。

